

# 株主のみなさまへ

## 第51期 営業のご報告

2011年4月1日～2012年3月31日

- 2 会社紹介
- 3 財務ハイライト
- 4 社長メッセージ
- 7 事業別のご報告
- 8 特集：トータルファッションシステム
- 10 シマセイキ革新の歴史
- 12 海外拠点からの手紙
- 14 トピックス／アンケート結果
- 16 連結財務諸表
- 18 会社概要／株式概要



# Ever Onward

—— 限りなき前進

「世界初」へのチャレンジの歴史が、  
「Ever Onward」の経営理念に結実しています。

当社の歩みは、現社長・島正博が「手袋編機の全自動化」という難課題を掲げて、1962年に当社を創業したことに始まります。そのひたむきな情熱と豊かな発想は、試行錯誤を経て1964年末に世界初の全自動手袋編機へと実を結びました。技術にこだわり「最高機能の製品を経済的な価格でお届けする」という当社の企業スピリットは、創業から50年たった今も生き続けています。

1970年代後半、第二次オイルショック後の不況期を脱すべく、機械技術と電子技術の融合を目指してきた当社は、高機能で低価格な独自の「コンピュータ横編機」を開発。80年代には、デザインシステムをはじめ、ソフト面の開発を強化することで先発の海外メーカーを凌駕し、創業20余年にして世界のトップランナーへと躍り出ました。さらに、国内ニット産業の空洞化が進んだ90年代には、完全無縫製の「ホールガーメント®横編機」を開発。「産業革命に匹敵する」と評されるほどのインパクトを世界のニット業界にもたらしました。

2000年以降も、当社は多様化する市場のニーズに応え、品質と生産性を大幅に向上させた新機種を次々と発売。「シマセイキ」ブランドは、先進国から新興国まで世界中のユーザーに広く受け入れられるようになりました。

今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、当社が提唱する「トータルファッションシステム」を活用した企画提案型のビジネスモデルの浸透を図ることで、アパレル産業の発展に寄与していきます。

## 事業紹介

### 横編機事業

世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社のコア・ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント横編機、多彩な柄を表現できるSIG®シリーズ、コストパフォーマンスの高さでユーザーから支持を得るNSSG®、SSR®など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップを展開。



### デザインシステム関連事業

ニット・アパレル業界のモノづくりを支援するデザインシステムを提供。バーチャルサンプルや3Dシミュレーションなどを駆使したワークフローにより、リードタイムの短縮とコスト削減を実現。近年は異業種への展開も進めている。また、自動裁断機やプリンティングマシンなどの製造・販売も行っている。



### 手袋靴下編機事業

当社技術開発史の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファイナージ化などの高度技術を応用し、医療用など高付加価値分野への対応を強化している。

### その他事業

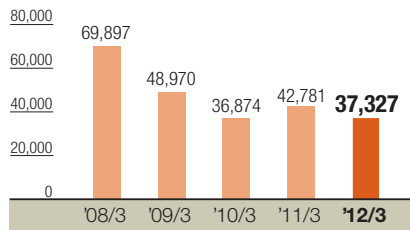
当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行う。

## 財務ハイライト(連結)

科 目		当 期 2012年3月期	前 期 2011年3月期	前期比
売上高	(百万円)	37,327	42,781	△ 12.7%
営業利益	(百万円)	883	5,907	△ 85.0%
経常利益・損失(△)	(百万円)	△ 212	2,838	—
当期純利益・損失(△)	(百万円)	△ 642	769	—
1株当たり当期純利益・損失(△)	(円)	△ 18.60	22.26	—
総資産	(百万円)	106,863	113,950	△ 6.2%
純資産	(百万円)	84,167	86,590	△ 2.8%
ROE(自己資本当期純利益率)	(%)	△ 0.8	0.9	—

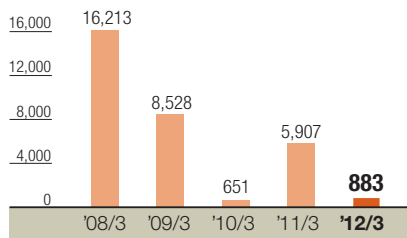
### 売上高

(百万円)



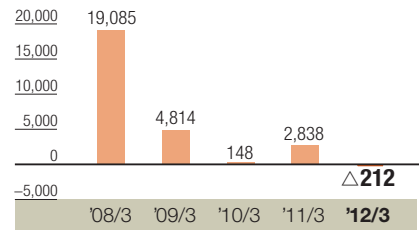
### 営業利益

(百万円)



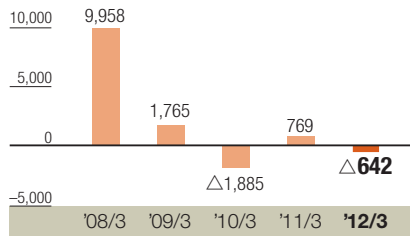
### 経常利益・損失(△)

(百万円)



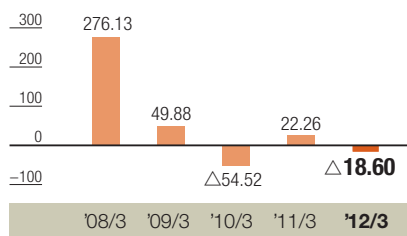
### 当期純利益・損失(△)

(百万円)



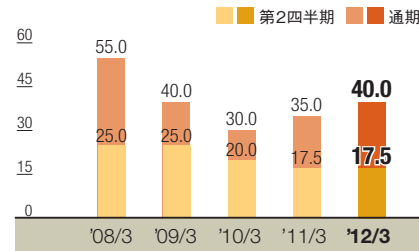
### 1株当たり当期純利益・損失(△)

(円)



### 1株当たり配当金


(円)



#### 将来の見通しについて

本報告書に記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行った予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これら予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

経営環境が大きく悪化する中  
大幅な減収・減益となりましたが、  
世界のニーズを的確に捉え  
全力で業績回復に努めていきます。



代表取締役社長  
島 正博

**Q** 当期の市場環境と業績について説明してください。

**A** 数々の逆風要因が重なり、  
売上・利益とも厳しい結果となりました。

当期の世界経済は、米国での雇用問題の悪化や欧州における信用不安の拡大など厳しい状況が続き、産業界全体で設備投資が落ち込みました。当社も第1四半期は中国など主要市場で売上を伸ばしたものの、第2四半期以降は欧州の経済不安拡大を受け、ユーザーの設備投資意欲が急速に減退しました。さらに円高や厳しい競合によって販売価格の引き下げを余儀なくされたことも重なり、当期の連結売上高は373億27百万円(前期比12.7%減)となりました。

営業利益については売上高の減少に加え、販売価格下落による利益率低下の影響もあり、8億83百万円(同85.0%減)の大幅減益となりました。また、円高の進行によって為替差損17億94百万円を計上したことなどにより、経常損失は2億12百万円(前期は経常利益28億38百万円)、当期純損失は6億42百万円(前期は当期純利益7億69百万円)となりました。

このように、業績数値では非常に厳しい結果となった当期でしたが、今後につながる成果もありました。その一つは前期末に発売した戦略機種「SSR®」の伸張です。期後半の厳しい状況にも関わらず、当期の横編機の販売台数はSSRの大幅な伸びにより前期を上回っており、ターゲットとした中国やその他新興国市場において、顧客ニーズを的確に捉え、シェア拡大とブランド構築を着実に進められたと考えています。また、将来の柱として注力を続けるホールゲーム®横編機、デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」についても前期に比べ売上台数を伸ばしました。特にテキスタイル、丸編み、レース、刺繍など横編みニット業界以外の業種にもSDS-ONE APEX3の導入を拡大できたことは大きな成果と捉えています。次期以降もこうした販売戦略を積極的に推し進め、業績回復に向け全力で取り組んでいく所存です。

**Q** 世界のニット産業の動向と  
当期の取り組みについて説明してください。

**A** 中国一極集中の構造が変わりつつある中で、  
各国・地域に応じた提案を積極的に進めました。

世界のアパレル製品生産の中心は、依然として中国であり、当期の当社売上も中国・香港市場が3分の1以上を占めています。しかし、人件費の高騰と若年労働力の不足から「世界の工場」としての中国のポジションは少しずつ低下しており、欧米の主要アパレル企業も中国周辺国への生産シフトを加速しています。一方で、経済発展に伴う衣料消費の伸びを背景に、中国国内では内需向けのニット産業が成長してきており、その市場規模はまだ小さいもののポテンシャルは非常に高いと見ています。こうした構造変化の中にある中国市場に向け、当期は展示会「上海テックス」において高品質・技術力を訴求するなど、今後への布石を打ちました。

新興国市場として中国に次ぐ重要国であるトルコでは、欧州アパレルによる生産地分散の動きを受けて、生産回帰が進んでおり、当社はNSSG®を中心に販売に注力しました。そのほか中国からの生産シフトで急速に市場が拡大しているカンボジアやバングラデシュ、欧州アパレルの新たな生産

地として伸びつつある東欧、さらに韓国、ロシアなどでも積極的な営業活動を展開しました。

また、先進国市場である欧州では、イタリアなどのアパレル企業から、消費地型のモノづくりに対する提案が求められています。このニーズに応えるべく、2011年9月には欧州で4年に一度開催される業界最大規模の展示会「ITMA展」に出展しました。スペイン・バルセロナで開催された同展では最新のホールガーメント横編機を中心に技術力を訴求するとともに、アパレル産業を革新する「トータルファッションシステム(p.8~9参照)」を提案し、多くの顧客から高い評価を得ました。これらの提案が潜在需要を喚起し、次期以降の売上につながっていくと考えています。

**Q** 当期の配当について説明してください。

**A** 創立50周年記念配当5円を加え、  
年間配当金は40円といたしました。

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つに位置付けています。当期の期末配当金は当初の予



コンピュータ横編機の主力機種「SSR」

SDS-ONE APEX3の  
デモンストレーション



## 社長メッセージ

定通り1株につき17円50銭としました。また、2012年2月に創立50年の節目を迎えましたので、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝の意を込めて、創立50周年記念配当として1株につき5円を増配しました。これらに中間配当金17円50銭を加え、年間配当金は40円といたしました。

厳しい事業環境が続いていますが、今後とも安定配当の継続と株主価値の向上に努めてまいります。

**Q** 次期の戦略と業績見通しについて説明してください。

**A** 各国・地域の市況とニーズに応じた提案を強化し、業績回復を目指します。

次期も、世界各国の市場動向を的確に捉え、グローバルな事業展開をさらに加速していきます。

先進国市場に向けては、ホールガーメント横編機のフルラインアップで攻勢をかけ、需要の掘り起こしを一層強化します。一方、当期にSSRでブランド力を高めた新興国市場

については、それぞれの現地法人や販売店と連携した営業強化、技術・サービス支援の拡充により、各市場でのポジションを着実に確立していきます。またデザインシステム関連事業については、ニット業界以外の市場も視野に入れながらSDS-ONE APEX3を核とした高付加価値ビジネスへの提案を拡大していきます。

当期の利益面に大きな影響を与えた円高(ドル安・ユーロ安)への対策としては、為替予約や債権流動化によるリスクヘッジ、海外からの部品調達比率の向上などの施策により、引き続き為替変動の影響を最小限にとどめるよう努めます。

これらの戦略を推進することで、次期の連結業績は売上高430億円、営業利益30億円、経常利益30億円、当期純利益20億円を計画しています(1ドル81円、1ユーロ107円を想定)。経営環境は依然として先行き不透明な状況が続くと予想されますが、各国、各地域の市況とニーズを踏まえた提案と最適な製品・サービスの提供によって業績を回復し、全世界のアパレル産業の活性化を目指していきます。

新工場紹介

## ホールガーメント横編機の専用工場が竣工

中国の件数高騰や若年労働力の不足、原材料高などを背景に、付加価値の高い商品を効率よく生産できるホールガーメント横編機のニーズが世界的に拡大すると見込まれます。こうした中、当社は今後のホールガーメント横編機需要に対応すべく、本社敷地内に専用の組立工場を新設し、2012年2月から稼働させました。他の編機に比べ製造リードタイムが長いホールガーメント横編機の生産ラインを独立させたことで、同機が生産が効率的に行えるようになっただけでなく、既存工場における普及機の生産性も向上しています。

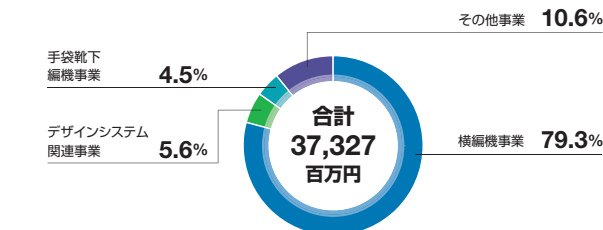


新工場「FA(Factory Amenity)3号棟」

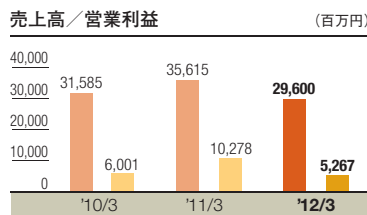
## 事業別のご報告(連結)

売上高 営業利益

### 事業別売上高構成比



### 横編機事業

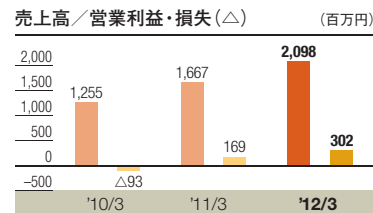


主力の中国市場においては、第1四半期には生産性の高いコンピュータ横編機の需要が拡大し、生産効率とコストパフォーマンスに優れた「SSR®」を中心に売上が伸びました。しかし、欧州財政金融危機が顕在化した第2四半期に入ると、欧米 Apparel からのニットの発注量が例年に比べて大幅に減少しました。先行き不透明感の広がりや金融引き締めの影響もあって、輸出主導のニットメーカーを中心に設備投資が急速に減退し、例年であればユーザーの設備投資が活発化する第4四半期にかけても回復が見られませんでした。また、欧州、ロシア向けの生産拠点である中東のトルコや、アジア周辺諸国などの新興ニット生産地域においても、こうした流れを受けて第2四半期以降は設備投資が落ち込みました。

欧州のイタリアでは付加価値の高い消費地型生産の核となるホールゲーム®横編機を中心に、第1四半期には販売が拡大しましたが、他の地域と同様、第2四半期以降は景気低迷の影響により減速しました。一方、国内市場は中国からの生産シフトの動きが一部に見られたことで、前年に比べて売上が増加しました。

これらの結果、横編機事業の売上高は296億円(前期比16.9%減)となりました。

### デザインシステム 関連事業



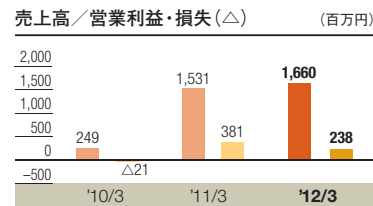
デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」は、バーチャルサンプルを用いた革新的なビジネス提案を積極的に展開したことで、横編ニット業界だけでなく、テキスタイルやプリント、丸編みニット業界などでも売上を伸ばすことができました。自動裁断機「P-CAM®」については特に国内市場で売上が拡大し、Apparel 業界以外に自動車内装部品や家具業界などの異業種にも販路を広げました。

これらにより、デザインシステム関連事業の売上高は、20億98百万円(前期比25.9%増)と大きく伸張しました。

### 手袋靴下編機事業

手袋靴下編機事業は、中国や韓国製の低価格機との厳しい競合環境にあったものの、当期に

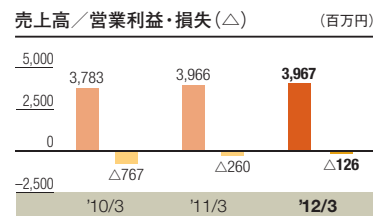
設備投資が進んだアジアの新興国において耐久性や製品の品質安定性などが高く評価され、売上高は16億60百万円(前期比8.5%増)と拡大しました。



### 22 その他事業

その他事業では、部品販売や修理・保守、紡績、ニット製品の販売などの事業を推進しました。

売上高は39億67百万円(前期比0.0%増)と大きな変動はありませんでした。



# アパレル産業の企画・生産プロセスを根本から変える

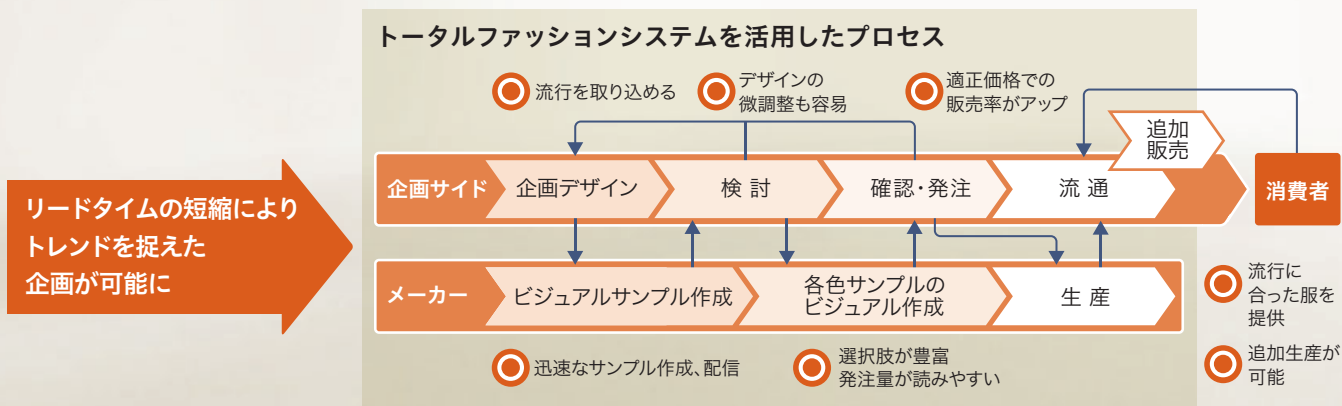
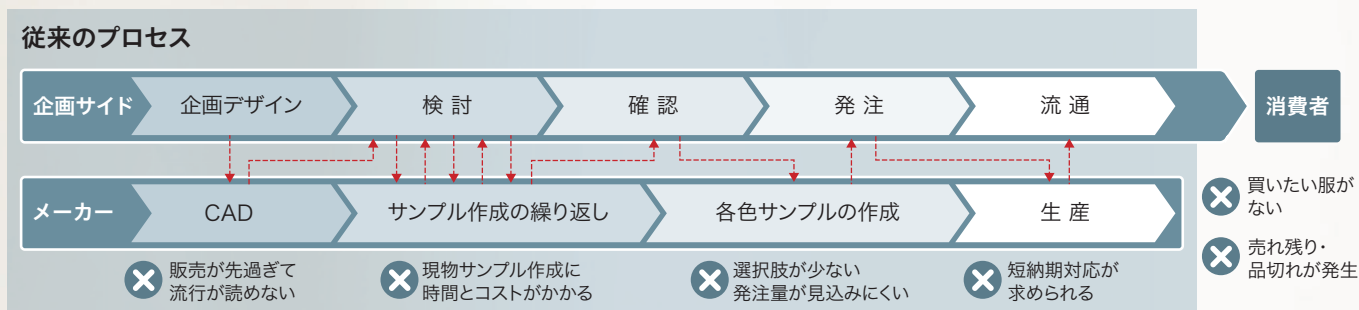
50年にわたってニット・アパレル業界に新風を吹き込んできたシマセイキが、さらなる革新をもたらそうとしています。

## ボトルネックの解消によりプロセスを劇的に効率化

アパレル製品の生産プロセスにおいてボトルネックとなっているのが「サンプル作成」。現物サンプルの制作には多大な時間とコストを要するため、これまでは下図に示しているような数々の問題点を抱えていました。

シマセイキの提案する「トータルファッションシステム」は

デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」(以下「APEX3」)の活用により、こうした問題を根本から解決。企画・生産のプロセスを劇的に効率化させることで、アパレル産業に変革を起こそうとしています。





## 革新を生み出す「トータルファッションシステム」

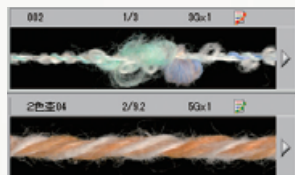
### 高品質なバーチャルサンプルを短時間で作成

「APEX3」はデザイン仕様書の寸法数値を入力し、柄・配色を着せ付けることでデジタルデータのサンプルを短時間で作成。製品の仕上がりや装着イメージを画面上で立体的に確認でき、修正や作り直しも極めて簡単です。現物サンプルのように原材料を使わず、トレンドに応じた企画・デザインを納得いくまで検討できます。



### リアルなサンプルがコミュニケーションを円滑に

本物の糸の高解像度データを使うバーチャルサンプルは、実物と遜色のないリアルな質感や風合いを再現。編地の表情や糸の起毛感まで伝えられます。デジタルデータを活用したリアルタイムでのデザイン確認や離れた地域へのプレゼンテーションなど、従来のコミュニケーションを大きく変えます。



### 多様なシミュレーションが企画の幅を広げる

「APEX3」には1,000種類以上の編地柄と世界標準の色見本を搭載。色・柄を自由に選んでシミュレーションが行えます。スタイルやシルエット、異なるゲージによる風合いの違いなど、現物サンプルではできなかった多種多様なアイデアの比較検討が可能になり、商品企画力・提案力を飛躍的に高められます。

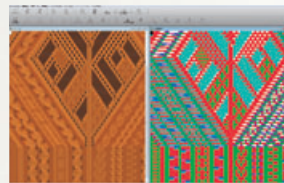


### トータルファッションシステム



### デザインと製造のプロセスがスムーズに連動

「APEX3」のデザインデータには当社編機用の編成データが含まれているため、データをニットCADソフトに転送するだけでタイムロスのない商品づくりが実現します。また、市場反応に合わせて色・柄・サイズを素早く変更でき、追加オーダーなどのきめ細かな対応も可能となります。



### ホールガーメント®横編機との連携でビジネスを革新

身頃や袖などのリンクングが不要なホールガーメント横編機と「APEX3」が連携することで、リードタイムを極限まで短縮した生産プロセスが実現。消費地のトレンドを取り入れた高付加価値の商品を、多品種少量・クイックレスポンスで提供できます。



# 世界初の技術で ニット業界を革新し続けてきた50年

創業以来、シマセイキは世界初の技術開発によってニット・アパレル産業に革新をもたらすとともに、顧客ニーズに応じた数々の製品を業界に提供してきました。近年はメカトロニクス技術の粋を結集した編機と、コンピュータ技術を駆使したデザインシステムの融合により、アパレルビジネスのモノづくりを革新する総合的な提案を推進しています。これからも当社は、世界のアパレル業界を変革する新技術・新製品の創造を目指していきます。



設立当時の様子



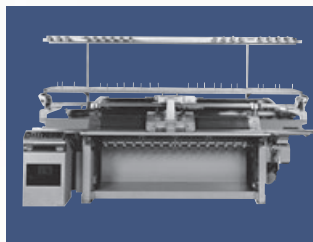
## 全自動手袋編機

世界で初めてパーツの縫い合わせを不要にした手袋編機。それまで手作業だった生産形態に大変革をもたらしました。



世界初

手袋編機・横編機  
累積販売台数



## シマトロニック®・ジャカード・ コンピュータ制御横編機SNC

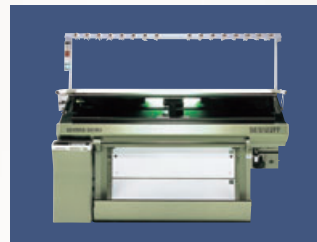
針の動きや糸の選択、生産管理までコンピュータで制御。生産時間を劇的に短縮しました。



世界初



独ライブチッピ展で  
ゴールドメダル賞を受賞



## シマトロニック・コンピュータ 制御横編機SES®シリーズ

高品質、高速、コンパクトを実現した第2世代の横編機。顧客ニーズを先進的に取り込み、ロングセラーとなりました。



ロング  
セラー



本社ビル竣工



## デジタルステッチ コントロールシステム(DSCS®)

世界初のデジタル給糸制御装置。ニットの丈の寸法誤差を±1%に制御し、最高水準の品質安定性を提供しています。



世界初

1962

1972

1982



### デザインシステム SDS®-ONE

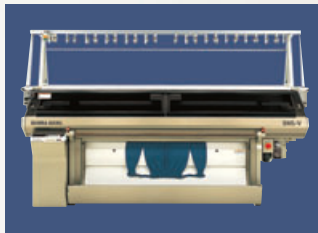
生産プロセス全体をつなぐオールインワンシステム。柄作成時間を大幅に短縮し、効率的な生産を可能にしました。



世界初



大河内記念生産特賞を受賞



### 無縫製型コンピュータ横編機 SWG®シリーズ

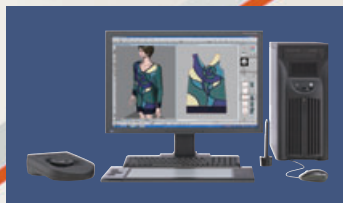
縫い目のないニットを世界で初めて実現。「産業革命に匹敵する大発明」は、ニット業界の常識を覆しました。



世界初



ジュビリー賞(英国・テキスタイル  
インスティテュート)を受賞



### 3Dデザインシステム SDS-ONE APEX3

リアルな3Dシミュレーションが大幅に進化。現物サンプルにかわるビジュアルコミュニケーションが現実のものに。



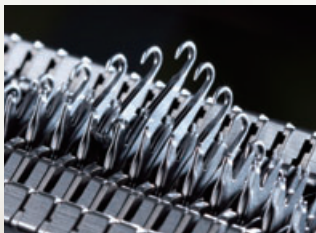
世界初



オンリーワン



知財功労賞経済産業大臣表彰を受賞

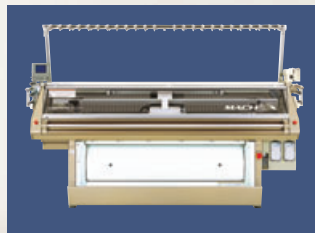


### スライドニードル®

過去150年間変わることのなかった編針の機構を刷新。今までにない編成方法や高品質な編地の作成が可能となりました。



世界初



### ホールガーメント®横編機 MACH2®X

従来機の2倍以上という驚異的な編成速度を達成。消費地生産のビジネスモデルに必須の存在となっています。



世界初



オンリーワン

1992

2002

2012

海外拠点からの手紙



ダッカ



ダッカ市内



バングラデシュ国会議事堂

# PEOPLE'S REPUBLIC OF From BANGLADESH

## 第4回 From バングラデシュ



### PROFILE

モハメド・シャハブディン  
(Mohammad Shahabuddin)  
バングラデシュ代理店  
PACIFIC ASSOCIATES LTD.  
マネージングディレクター

1971年の独立以来、日本と深い親交を結んできたバングラデシュは、日本の4割ほどの国土に約1億5千万人が暮らす、人口密度の高い国です。ガンジス川の河口に広がる肥沃なデルタ地帯や、希少動物ベンガルトラの生息するジャングルなど、豊かな自然でも知られています。長年、アジアの中でも一人当たりの所得が最も少ない国と言われてきましたが、近年は豊富で安価な労働力により「チャイナ・プラス・ワン」候補の筆頭として、世界の注目を集めています。

講習風景



ショールーム



PEOPLE'S REPUBLIC OF BANGLADESH



### 急成長する繊維産業 ニット生産の自動化も徐々に進展

バングラデシュにとって繊維産業は最大の基幹産業であり、繊維製品が総輸出額の約8割を占めています。ここ

数年、H&MやZARAをはじめ欧州系の大手ブランドが続々と生産拠点を設けるなど、繊維産業はさらに成長を遂げています。

昔から綿織物の産地として知られるこの国で、ニット生産が始まったのは約20年前。現在では輸出繊維製品の半数をニット製品が占め、国内には700以上の生産工場が存在します。大部分の工場はまだ手動式横編機が使われていますが、最近では品質や生産性に対する欧州アパレルの高度な要望に応えるべく、生産の自動化が徐々に進んでおり、コンピュータ横編機の潜在需要は非常に大きいと考えています。

PEOPLE'S REPUBLIC OF BANGLADESH



### 戦略機種「SSR®」を積極展開 サポート体制の強化にも注力

2009年からバングラデシュでの販促・マーケティングを開始したシマセイキとともに、当社は各地のニットメーカーを対象にしたセミナーや展示会、ダッカに開設したショールームなどを通じ、コンピュータ横編機の認知度向上に努めてきました。現在の注力機種はコンパクトかつコストパフォーマンスに優れた「SSR」です。

コンピュータ横編機を使ったことがないお客様に導入を促すには、製品を活用してもらうための技術サポートも重要です。2010年には、シマセイキの本社スタッフによる当社技術者への講習が1年かけて実施され、その結果、現在では当社技術者がお客様への講習会を定期的に開講できるほど技術レベルもアップしています。

PEOPLE'S REPUBLIC OF BANGLADESH



### 一層の拡大が期待される国内市場で 存在感をさらに高めていく

こうした取り組みの結果、当期のシマセイキの編機の販売台数は、前年比3倍超の伸びとなりました。客先数・売上台数の増加とともに、「シマセイキ」ブランドの知名度も着実に高まっていると実感しています。

今後、欧州アパレルの生産シフトは一層進むと予想されます。さらには今年1月に繊維製品の関税が撤廃された隣国インドや、ニット製品の原産地規則が緩和された日本など、輸出先の拡大も期待されます。これからも当社はシマセイキとの密な連携のもと、生産を革新するコンピュータ横編機の拡販に努めるとともに、技術サポートをさらに強化し、バングラデシュにおける存在感を高めていきます。



展示会の様子

# 2012年3月期の取り組み

## 第51期

### 2011年

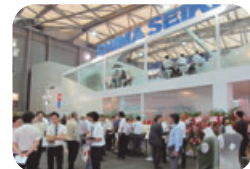
- 5月24日 **出荷** コースゲージ対応のコンピュータ横編機SCG®122SNを初出荷
- 6月14日 **展示会** 第15回上海国際紡織工業展(上海テックス)に出展 **①**
- 9月22日 **展示会** 国際繊維機械見本市 ITMA2011に出展【スペイン・バルセロナ】 **②**  
 下旬 **C S R** 台風12号豪雨災害の支援のため社員を派遣【和歌山】
- 10月 7日 **展示会** 東京ファッション産業機器展(FISMA TOKYO)に出展  
 12日 **出荷** インクジェットプリンティングマシンSIP-160F2Lを初出荷
- 11月 9日 **展示会** 先端材料技術展2011(SAMPE JAPAN)に出展【東京】
- 12月 6日 **展示会** ジャパン・ベストニット・セレクション2011に協賛・出展【東京】

### 2012年

- 1月26日 **放映** NHK-BS1「TOKYO FASHION EXPRESS」で当社紹介
- 31日 **工場** ホールガーメント®横編機の組立工場 FA3号棟が竣工
- 2月 4日 **創立記念** 創立50周年を迎える
- 4日 **出荷** 21ゲージの成型編みが可能なコンピュータ横編機SWG®-FIRST®154S21を初出荷 **③**
- 9日 **展示会** ダッカ・インターナショナル・テキスタイル&ガーメント展に出展【Bangladesh】
- 3月21日 **販促** オリジナルブランド「SAMAND'OR(サマンドール)」の販売を開始
- 24日 **展示会** ホールガーメント横編機 新機種個展を本社で開催【和歌山】 **④**

## 第52期

- 6月12日 **展示会** ITMA ASIA + CITME 2012に出展【中国・上海】



①



②



③



④

当期、ホールガーメント製品販売イベントを下記の地域で開催しました。  
 今後も引き続き、各地で積極的に販促活動を展開していきます。

- |     |                   |    |                 |
|-----|-------------------|----|-----------------|
| 東京  | 京王百貨店新宿店、東武百貨店池袋店 | 兵庫 | 山陽百貨店姫路本店       |
| 神奈川 | 高島屋横浜店            | 福岡 | 阪急百貨店博多店、井筒屋小倉店 |
| 大阪  | 高島屋大阪店            | 宮崎 | 宮崎山形屋           |



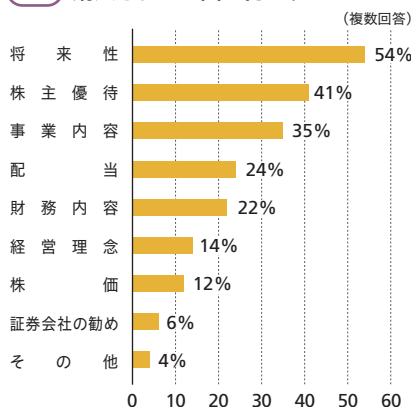
## アンケート結果

# 株主様アンケート集計結果のご報告

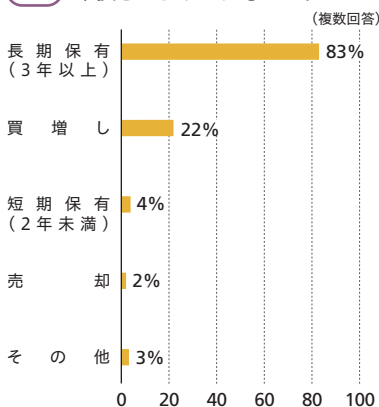
当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、定期的にアンケートを実施しています。昨年12月発行の第51期第2四半期「株主のみなさまへ」に同封したアンケートでは、約3,400名(回答率17.5%)という多くの株主様からご回答をいただきました。

皆様から頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め、今後のIR活動ならびに事業活動に活かしてまいります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

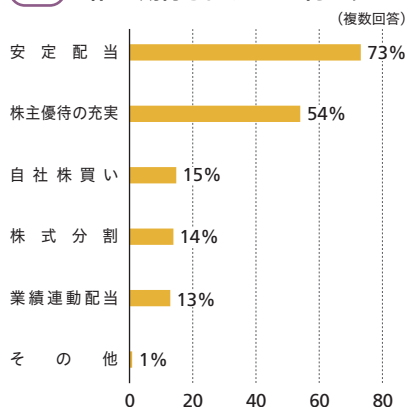
### 1 当社の株式を 購入された理由は何ですか？



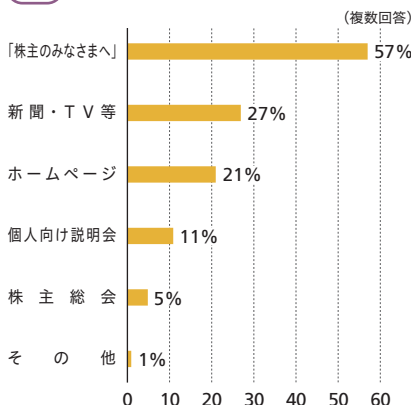
### 2 当社の株式について 今後どのようにお考えですか？



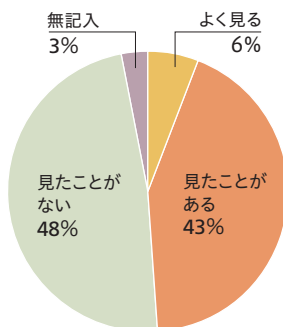
### 3 株主還元に関して 当社に期待されることは何ですか？



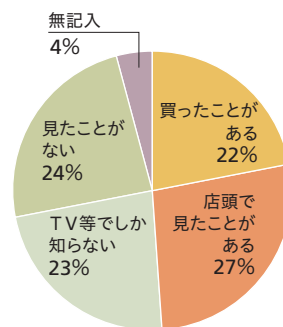
### 4 会社情報を提供する手段として 当社が今後充実すべきなのは？



### 5 ホームページのIR情報をご 覧になったことがありますか？



### 6 当社の編機で作られる ホールゲーム®について



## 連結財務諸表(要約)

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	2012年3月31日現在	2011年3月31日現在		2012年3月31日現在	2011年3月31日現在
<b>流動資産</b>	<b>67,491</b>	<b>75,246</b>	<b>流動負債</b>	<b>17,330</b>	<b>19,228</b>
現金及び預金	14,910	19,966	支払手形及び買掛金	4,294	7,046
受取手形及び売掛金	29,857	33,814	短期借入金	5,701	5,693
その他	25,285	23,960	1年内返済予定の長期借入金	3,000	—
貸倒引当金	△2,561	△2,494	その他	4,333	6,487
<b>固定資産</b>	<b>39,372</b>	<b>38,703</b>	<b>固定負債</b>	<b>5,365</b>	<b>8,131</b>
有形固定資産	20,940	20,717	長期借入金	1,500	4,500
土地	10,930	10,999	その他	3,865	3,631
その他	10,010	9,717	<b>負債合計</b>	<b>22,695</b>	<b>27,359</b>
無形固定資産	5,151	5,553	<b>株主資本</b>	<b>95,998</b>	<b>98,417</b>
のれん	5,030	5,420	資本金	14,859	14,859
その他	121	132	資本剰余金	21,724	21,724
投資その他の資産	13,279	12,432	利益剰余金	66,303	68,234
投資有価証券	7,243	7,149	自己株式	△6,889	△6,400
その他	7,456	7,130	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△11,995</b>	<b>△11,900</b>
貸倒引当金	△1,420	△1,846	その他有価証券評価差額金	△340	△456
<b>資産合計</b>	<b>106,863</b>	<b>113,950</b>	土地再評価差額金	△7,350	△7,433
			為替換算調整勘定	△4,305	△4,011
			<b>新株予約権</b>	<b>153</b>	<b>62</b>
			<b>少数株主持分</b>	<b>11</b>	<b>11</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>84,167</b>	<b>86,590</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>106,863</b>	<b>113,950</b>

#### POINT 1 資産合計

現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少により、前期末に比べ70億87百万円減少しました。

#### POINT 2 負債合計

支払手形及び買掛金の減少により、前期末に比べ46億63百万円減少しました。

#### POINT 3 純資産合計

当期純損失の計上や配当金の支払により利益剰余金が減少したことで、前期末に比べ24億23百万円減少しました。

#### POINT 4 売上高

主力の横編機事業において、欧米を中心に衣料品消費が低迷し、ユーザーの設備投資が停滞したことなどにより、売上高は前期比12.7%減となりました。

#### POINT 5 営業利益

円高や競合環境の激化による販売価格の低下により売上総利益率が下押しされたことや、販売費及び一般管理費比率が上昇したことで、営業利益は減少しました。



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
▶4 売上高	37,327	42,781
売上原価	22,894	23,586
売上総利益	14,432	19,194
販売費及び一般管理費	13,549	13,286
▶5 営業利益	883	5,907
営業外収益	851	721
営業外費用	1,947	3,790
▶6 経常利益・損失(△)	△212	2,838
特別利益	—	534
特別損失	324	2,280
税金等調整前当期純利益・損失(△)	△537	1,092
法人税、住民税及び事業税	113	591
法人税等調整額	△9	△269
少数株主利益	0	0
当期純利益・損失(△)	△642	769

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
▶7 営業活動による キャッシュ・フロー	△2,093	3,503
▶8 投資活動による キャッシュ・フロー	531	△1,834
▶9 財務活動による キャッシュ・フロー	△1,928	1,297
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△396	△1,206
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△3,886	1,760
現金及び現金同等物の 期首残高	18,077	16,317
現金及び現金同等物の 期末残高	14,190	18,077

## 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				新株 予約 権	少数 株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定				その他 の包括利益 累計額合計
2011年4月1日残高	14,859	21,724	68,234	△6,400	98,417	△456	△7,433	△4,011	△11,900	62	11	86,590
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△1,210		△1,210							△1,210
当期純損失			△642		△642							△642
自己株式の取得				△488	△488							△488
自己株式の処分			△0	0	0							0
土地再評価差額金の取崩			△78		△78							△78
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						116	82	△293	△94	90	0	△4
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△1,930	△488	△2,419	116	82	△293	△94	90	0	△2,423
2012年3月31日残高	14,859	21,724	66,303	△6,889	95,998	△340	△7,350	△4,305	△11,995	153	11	84,167

### POINT 6 経常利益・損失(△)

円高の進行によって為替差損を計上したことなどにより、経常損失となりました。

### POINT 7 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の減少等はありませんでしたが、仕入債務の減少、たな卸資産の増加等により20億93百万円の資金の減少となりました。

### POINT 8 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得等による支出はありましたが、有価証券の売却や定期預金の払戻等により5億31百万円の資金の増加となりました。

### POINT 9 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払や自己株式の取得等により19億28百万円の資金の減少となりました。

注) 詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

## 会社概要

### 会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	株式会社島精機製作所
(英文表記)	SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,190名(連結1,727名)
事業内容	コンピュータ横編機 コンピュータデザインシステム CAD/CAMシステム 手袋編機、靴下編機



本社ビル

### 事業所 (2012年6月28日現在)

#### 支店、テクニカルサービスセンター (TSC)

東京支店	(東京都中央区)
東京 TSC 甲府	(山梨県中巨摩郡昭和町)
東京 TSC 太田	(群馬県太田市)
東日本支店	(新潟県五泉市)
東日本 TSC 山形	(山形県山形市)
東日本 TSC 福島	(福島県伊達市)
西日本支店	(大阪市北区)
西日本 TSC 名古屋	(名古屋市中区)
西日本 TSC 泉州	(大阪府泉大津市)
西日本 TSC 四国	(香川県東かがわ市)

海外支店 台北支店 (台北市)

工場 本社工場 (和歌山県和歌山市)

### 役員 (2012年6月28日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島 正博	営業本部長
取締役副社長	島 三博	経営企画部、トータルデザインセンター担当兼営業本部副本部長
常務取締役	和田 隆	生産技術部、製造技術部、システム生産技術部担当兼生産本部長
常務取締役	有北 礼治	新技術事業推進室担当兼開発本部長
取締役	梅田 郁人	島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	国内営業部、物流部担当兼海外営業部長
取締役	南木 隆	管理部担当兼経理財務部長
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業本部付部長
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	的場 悠紀	弁護士
監査役	新川 大祐	税理士・公認会計士

(注) 監査役 的場悠紀、新川大祐の両氏は、社外監査役であります。

### 連結子会社 (2012年3月31日現在)

株式会社シマファインプレス	(和歌山県和歌山市)
ティーエスエム工業株式会社	(和歌山県和歌山市)
株式会社海南精密	(和歌山県海南市)
東洋紡糸工業株式会社	(大阪府泉北郡忠岡町)
SHIMA SEIKI EUROPE LTD.	(イギリス)
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.	(アメリカ)
島精機(香港)有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)	
SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.	(イタリア)
島精榮榮(上海)貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)	
SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.	(スペイン)
東莞島榮貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)	
SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.	(タイ)

## 株式概要

### 株式の状況 (2012年3月31日現在)

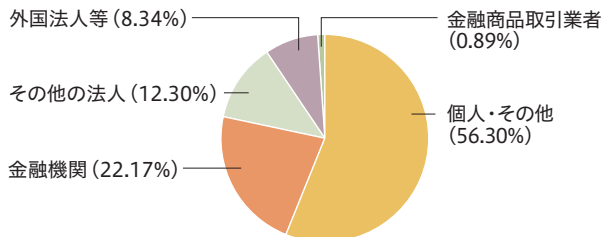
- ① 発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ② 発行済株式の総数…………… 36,600,000株
- ③ 株主数…………… 19,405名
- ④ 大株主

(千株未満切捨て)

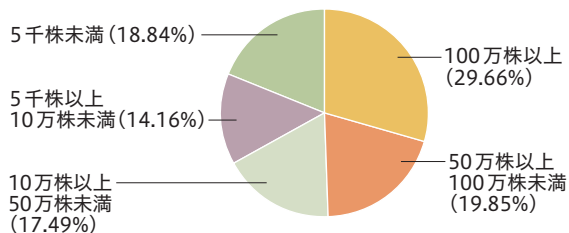
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	3,450	10.08
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,597	4.67
株式会社紀陽銀行	1,310	3.83
島 正 博	1,070	3.13
島 三 博	1,060	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
合同会社和光	765	2.23
シマセイキ社員持株会	762	2.23
株式会社池田泉州銀行	700	2.04
後藤ひろみ	697	2.04

(注) 当社は、自己株式2,370千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。  
持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

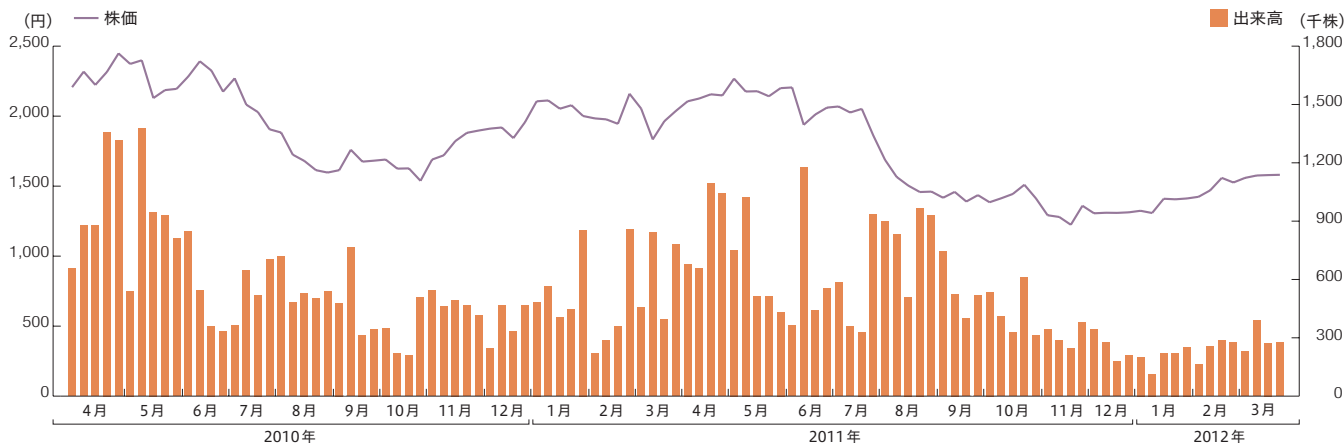
### 所有者別分布



### 所有数別分布



### 株価と出来高の推移 (過去2年間)



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	基準日	3月31日	
	開催日	毎年6月	
配当金受領株主確定日	期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
公告方法	電子公告		
	下記当社ホームページに掲載 ( <a href="http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html">http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社		
	大阪証券代行部		
	〒541-8502		
	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)		

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地

TEL (073) 471-0511 (代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

DSCS、FIRST、MACH2、NSSG、P-CAM、  
SCG、SDS、SES、SIG、SSR、SWG、  
シマトロニック、スライドニードルおよび  
ホールガーメントは株式会社島精機製作所  
の登録商標です。

オリジナルブランド「サマンドール」を立ち上げ  
東京に直営店をオープンしました。

## SAMAND'OR

当社は2012年3月、初のオリジナルニットブランド「SAMAND'OR(サマンドール)」の販売を開始しました。当社の提唱する「トータルファッションシステム(p.8～9参照)」を実際のビジネスモデルとして提示するもので、日本橋高島屋内のニット専門店「Isola Bella(イゾラペラ)」を新たに「SAMAND'OR」としてオープンしました。

同店では、店頭商品の販売だけでなくオーダーメイドにも対応しており、デザインシステムとホールガーメント®横編機の連携により、自分だけのこだわりのニット製品をお作りいただけます。当社は同ブランドを通し、ホールガーメントの認知度向上と普及に努めるとともに、ニットの魅力を最大限に引き出した新しい衣料を市場に提供してまいります。



商品例



SAMAND'ORの店舗  
日本橋高島屋 4階 デザイナーズワールド

この報告書は環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。